

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

今年も奥多摩！ 2008年度夏期学校レポート 報告：森本 成



今年もCS夏期学校がやってきました。会場は東京のふるさとといわれるJR青梅線の古里(こり)駅の近くにあるリーベンゼラ宣教団『奥多摩福音の家』です。4月新学期にはいると夏休みもすぐにやってきます。それで参加教師も未定の5月から3日間のプログラム作成にとりかかります。これも校長の役目となっています。今年は「人とともに生きる」というテーマで新約聖書

からお話を選びました。

昨年から既に会場は予約済みで7月19日から21日(海の記念日休日)の日程で行いました。広く教会員の方々にも、日返りや一泊参加もできるファミリーキャンプとして呼びかけました。結局、参加は昨年よりも少ないチームとなりましたが、内容は皆さまによることで頂き、いつも励みになっています。





さて、昨年より集合時刻を遅らせての出発となりました。いつものように校長がお祈りをして電車に乗り込みます。やはりお天気がよいと心もウキウキです。マイカーでの参加者もいるので電車組みも子どもたちを余裕をもって見ることができます。茅ヶ崎から橋本,そして八王子から拝島と乗り継いで、青梅線となります。目的地の古里駅には12時過ぎに到着しました。毎年、西堀キリスト福音教会など、お馴染みの団体が来ています。阿佐谷の久遠キリスト教会も来ていました。数年前、教会ハンドベル音楽祭の開催教会で、茅ヶ崎同盟教会のクワイアも参加した大きな教会です。毎年この時期の奥多摩ではいたるところでカナカナカナ・・・と、ひぐらしが鳴いてわたしたちを歓迎してくれます。

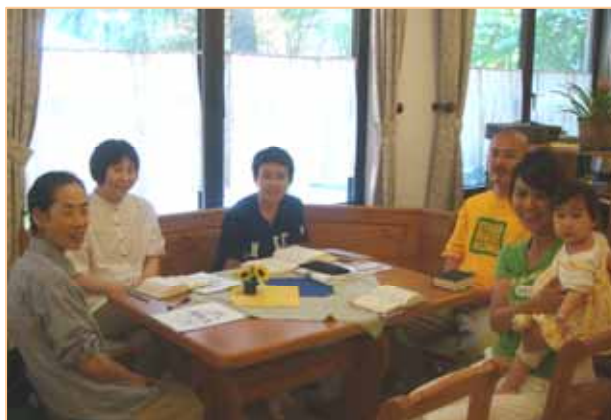
第1日目は、オリエンテーションのあと、司会 = 川島姉、お話 = 弓桁姉による礼拝です。ルカによる福音書5章27節より『つかれてすわっている人に』というお話を聞きました。その後は、クラス別にそれぞれ復習や工作などをしました。

福音の家の夕食は午後5時半からです。キッチンスタッフが、カウベルを鳴らして食事を知らせてくれます。毎回さまざまなメニューで本当に美味しいのですが、こればかりは実際に味わうのが一番です。

楽しい夕食の後は、讃美とゲームの時間です。稲津亜紀姉の司会で始まります。校長のショートメッセージに続き、今回は大変おもしろいゲームがありました。それは聖書からの6つの質問カードが3階建ての宿舎のいたるところに隠され



ています。そしてカードを探して順番に問題を答えるという『問題カード探し&超難問聖書クイズ6連発』ゲームでした。それぞれくじ引きでペアになったチームが挑戦します。このルールを理解できないチームもいて、30分以上も費やしてしまいました。一番は誰・・・なんとか校長チームで、物笑いのタネになるのは免れま



した(例題:バプテスマのヨハネのお母さんは誰? イサクのお父さんは誰? など)。1人で考えて、カードを隠した亜紀姉、ごくろうさまでした。そして賞品はお菓子となぜか発泡固形入浴剤、しかもそれをチョコレートと間違えた人がいてまたまた笑えます(自他共にテンネンで有名なM姉など)。さらに亜紀姉のマジックが飛び出した。相当練習をしたらしく大ウケでした。もう後に引けません。これからネタは増えそうな雰囲気になってきました。そして丁度この日に満1歳を迎えたせきこねちゃんのお誕生日をみんなでお祝いしました。最後はビンゴ大会をしてこの日のプログラムを終了しました。

2日目は主日礼拝です。司会=飯田姉,お話=川島姉によるマタイによる福音書19章23節より『私たちも神さまのところにいけるの?』というメッセージを聞きました。礼拝後は個人面談がありました。そして思い出のTシャツ作りを,思い思いのデザインで作りました。今年は茅ヶ崎同盟教会の分級でも同じTシャツ作りをしました。

一方,当日のお昼は河原でのバーベキューなので,早朝より器材を運んでおき,テント設営とコンロの準備です。これはスタッフの大通さんがテントや椅子などもろもろの器材を車に積んでおいてくれるので非常に助かります。場所は多摩川の支流となる秘密のスポットで,石灰岩採石場の奥をさらに山道を登ったと





ころにあります。これも何年も前に大通さんに教わった場所なのです。河原の岩を取り除いて平坦にしてテントを張り、火をおこしてお昼に備えます。

いよいよ食材と子どもたちが到着してバーベキューの始まりです。子どもたちは小さな滝と溪流で大はしゃぎしております。水は冷たく澄んでいて、夏ならではの川遊びができ、また教師の目も届くので安心です。

さて、メニューはウインナ、とうもろこし、やきそばです。二度にわけて調理しましたが、料理する人によって味が微妙に変わり、これも二度味わえました。全員満腹です。

宿舎に戻ると、3時にスイカが出ます。スイカを食べて弓桁姉は帰途につきます。「スイカが出るのに食べないで帰るわけにはいかないでしょう。おみやも欲しい・・・」といいながら帰っていきました。これで少し静かになりました。

夕食の後は、キャンプファイアーと花火大会です。すこし暗くなるのをまって福音の家の中庭にセットした薪木に点火です。飯田姉のショートメッセージの後、こんどは花火を楽しみました。そして、今夜、帰途につく8名を見送って第2日目を終えました。

3日目の朝は、残った数名の教師で朝の体操から始めました。礼拝は、司会＝森本兄、お話＝稲津（悠）姉の担当で、ローマ人への手紙13章8節より『わたしのちかくにいる人』というお話を聞きました。教師5名に小学3年生るい君1人という超デラックス礼拝になりました。そのあとは「まちがいさがし」ゲームで時間を過ごしました。

最後のランチはピザとスパゲッティ＆コーラでした。本当に美味しかった。

キッチン担当の永山さんにみんなで「ありがとうございました!」とお礼を述べました。帰りの電車では、るい君得意の絵しりとりゲームをしながら帰ってきました。しりとりゲームのことばを描いて次の人に渡すというゲームで、絵の才能がものをいいます。茅ヶ崎に戻るとあっという間の3日間でした。





たが,今年も奥多摩でいっぱい聖書の勉強ができたこと,みんなで楽しく過ごせたこと,すべて神さまが見守って下さった3日間を感謝しています。

編集後記 (Aug.2nd. 2008,Updated)



2008年7月19~21日,奥多摩福音の家で行われた夏期学校の思い出レポートです。CS 便りは編集担当なので,編集後記を書いています,「レポートもコーチョーが書け」とのこと,すべてを書くことになりました。恵みの3日間でしたが,このレポートを通して楽しかったことがよみがえってきそうです。じっくりとお楽しみ下さい。(森本 記)